

県議員 奥村のり子の
読者ニュース



2017年3月19日 第257号

——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp

先輩議員失い辛いです

事件を起こした責任を取り辞職をした松坂県議員は4期目の先輩議員です。政務活動費に対しても非常に厳格で県議団の中心になられていた方を失ったことは大変辛いことです。

このことは、自分の問題としてしっかり受け止め、2議席となった今、県議団が心一つにして、信頼の回復に全力を上げて参ります。引き続きのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

新年度予算に反対しました
カジノ誘致や紀淡海峡道路推進等

2月定例会では新年度予算について反対をしました。県の借金は1兆355億円にも上ります。県民一人当たり109万円に達する見込みです。予算の内容はみなさんの要求が前進したものではありませんが不十分です。

県単独医療費助成が減額され、子どもの医療費助成の対象拡大はされませんでした。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

松坂英樹県議の
議員の辞職について

日本共産党和歌山県委員会
2017年3月9日

わが党の県議である松坂英樹県議（有田郡選出）は3月8日、電気の窃盗をおこなった責任をとって、県議会議長に辞職願を提出しました。問題の事件は、松坂県議が2月12日に広川町の温泉施設「ほたるの湯」の駐車場のコンセントから無断で自動車に充電したものです。「ほたるの湯」の指定管理者から湯浅署に被害届が出され、3月7日に書類送検されました。県民の付託を受けて議会活動をおこない、住民の要求実現の先頭に立つべき党の県議が、このような事件をおこし、議員を辞める事態に至ったことを深くお詫び申し上げます。

松坂県議がおこなった自動車への無断窃電は、刑法が禁ずる窃盗行為であり、絶対に許されるものではありません。日本共産党和歌山県委員会は、党議員の日常活動に対する監督責任を痛感しています。県民のみなさんに重ねてお詫びするとともに、失った信頼を一日も早く取り戻すために、全力をつくします。

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 3月17日 市駅前／吉宗俊前朝宣伝、生活相談
- 18日 休み
- 19日 地域訪問
- 20日 地域訪問
- 21日 消防学校竣工式、9条守る県民の会宣伝
- 22日 デイサービスボランティア
- 23日 健診、市女性後援会、無料生活相談

「森友」問題
幕引き
ゆるすな

宮本たけし議員が
お話しします

とき 3月20日（月・祝）
午後1時30分開会
ところ 勤労者総合
センター6階
（和歌山市役所西隣）



3月11日大阪高槻市で
訴える宮本たけし議員

市議会一般質問で

2月23日から、29年度当初議会が行われています。

私は、8日に一般質問を行い、全校に学校司書を配置する事など求めました。現在和歌山市の学校司書の配置状況は、市立の小・中・高等学校のなかで学校司書を配置しているのは、四ヶ郷小学校一校のみと成っています。

文科省の学校図書館の現状に関する調査によると、小学校における常勤の学校司書の配置率は12.4%、中学校で16.7%、高校は55.0%となっております。和歌山市の現状は、全国に比べて大変遅れています。

今回の質問で、市内で唯一司書が配置されている四ヶ郷小学校

遅れている学校司書の配置を要望

の状況を伺うと、図書館の利用が大幅に増加した事や、アンケートの結果から、国語好きと答えた児童や授業がよく分かるなど答えた児童が増加しているなど。市は答弁で成果を強調しました。

しかし、司書の配置については、効果的・効率的な配置を検討するに止まりました。

学校図書館の配置は、子ども達が読書に親しむ機会を広げるだけでなく、将来の図書館の利用にも繋がります。和歌山市民図書館の利用は、全国各地の利用状況と比べると、低い水準にあります。今後の市民図書館の活用をどのようにするのかを考える上でも、学校司書を配置し読書に親しむ習慣を付ける事は重要です。

党市議会議員
中村あさと

